

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

評価責任者	所属	観光交流文化局 文化振興課
	氏名	課長 萩原 智美

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	1 芸術文化活動への参加促進と人材育成の充実
----	------------------------

施策の目的	<p>高齢化等によるメンバーの減少など、市民の安定した文化活動のためには次代の担い手の育成は急務であり、将来の本市の文化を担う子どもたちに、鑑賞・発表・体験を通じ、文化を身近なものとして捉え、多彩な文化を受け入れることができる場所を育てることが求められます。また、子どもに限らず、潜在する担い手に対し、様々なジャンルの文化情報を提供するとともに、文化全般に興味を持ってもらう取組が必要です。</p> <p>子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実や、文化の担い手の発掘、育成及び支援を図り、市民の自主的で活発な創作活動を通じて、個性や創造性を発揮できる人材や、地元を誇りや愛着を持つことができる人材を育てます。</p>
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	人材の育成・発掘等の事業について、目標値を大きく下回った。市民参加型事業についてもイベントの中止による参加者数の減少により左記の評価とする。しかし、個別の事業で見た際に目標を大きく達成している事業がある点などを踏まえて、今後の対応策やイベント内容、周知方法などを検討していく。
	令和2年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加型文化事業及び各文化施設における人材育成事業の多くが中止となった。また、設定している指標「市民参加型文化事業参加者数・来場者数」及び「人材育成事業参加者数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業の中止・規模縮小での実施となり適正な実績値を測定することができなかつたため、評価することができない。
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	市民参加型文化事業参加者数・来場者数	59,873人(2017)	1	58,600人	56,258人	96.0%	a	令和元年度以降はストリートフェスティバルを行わないため、それを除く直近3か年の平均値。令和2年度は新型コロナウイルスの影響が想定されるため、70%の値。（100未満四捨五入）
2			41,000人	6,740人	16.4%	d		
3			58,600人	—	—	—		
4			58,600人	—	—	—		
人材育成事業参加者数		10,038人(2017)	1	10,400人	9,408人	90.5%	b	
			2	7,300人	3,608人	49.4%	d	
			3	10,400人	—	—	—	
			4	10,400人	—	—	—	
指標以外の成果		1						
		2						
		3						
		4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
市民参加の文化事業の推進・支援	市民参加育成型事業の実施、静岡市民文化祭及び静岡市芸術祭の開催		1	25,355	0	25,351	3.0	0.0	0.0	△
			2	25,156	0	13,857	3.0		0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
	各種文化事業を実施する個人、団体に対する助成		1	1,500	0	1,180	2.0	0.0	0.0	△
			2	9,500	0	8,535	2.0		0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
文化活動を担う人材の発掘・育成・支援	子ども・若者を対象とした鑑賞・体験・発表機会の充実及び各文化施設の運営へのボランティア等の参画支援		1	20,378	0	13,476	8.0	0.0	0.0	△
			2	17,700	0	10,750	8.0		0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	市民参加型事業については、前年度までと違い、ストリートフェスティバルが執り行われなくなった点などから、新しい目標値を設定したため、今後の経過の観察が必要である。また、人材育成については、参加者数が減少しているため、今後の周知や企画内容の検討が必要である。	参加者確保に向けた効果的な広報の実施や、他の事業や課との連携、事業そのものの見直し等。
令和2年度	市民参加型事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、感染拡大防止の観点から中止となった事業が多数あり目標の達成には至らなかった。また、人材育成事業についても中止・規模縮小となり目標値を大幅に下回った。今後は、事業参加者数の回復に向けた工夫が必要である。	参加者数の回復に向けた効果的な広報の実施や、他事業・他課との連携等を検討していく。
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	2 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進
----	---------------------------

施策の目的	本市スポーツ推進計画では成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率68%を目指しています。H25年度の成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率が50.7%であることから、目標を達成するために、現在運動・スポーツを行っていない市民にいきなり運動・スポーツを実施してもらうことが重要となります。日頃運動・スポーツを行わない人が新たに運動・スポーツに取り組む機会を充実させるために、それぞれのライフステージに合わせた各種スポーツ教室、スポーツイベントを実施します。
-------	--

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ振興課
	氏名	課長 杉山 範雄

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	理由
	A：施策の目的が達成されている。	—	—	—	RIの目標である各種スポーツ教室・イベントへの参加者数96,140人に対し、目標を上回る96,657人の実績であり目標を達成しているため、評価を「A」とした。
		—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ教室やイベント開催において、中止や参加人数制限措置を講じたことから、設定している指標（各種スポーツ教室・イベントへの参加者数）について正しい実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
		—	—	—	
		—	—	—	

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。 A：施策の目的が達成されている。 B：施策の目的があまり達成されていない。 C：施策の目的が達成されていない。 —：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	96,140人	96,657人	100.5%	a	
各種スポーツ教室・イベントへの参加者数	92,315人	2	96,140人	63,281人	65.8%	d		
		3	96,140人	—	—	—		
		4	96,140人	—	—	—		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
各種スポーツ教室の開催	・青年から中高年、高齢、女性、障がい者など様々な世代、ライフステージを対象としたスポーツ教室の開催 ・初心者スポーツ教室の開催	2	1	18,164	0	17,076	1.1	0.0	0.0	△
			2	17,930	0	13,321	1.1	0.0		
			3	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—		
誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催	・日頃の練習の成果を発揮できるスポーツや、気軽にできる運動・スポーツなど、誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催	1	1	56,195	0	49,600	4.9	0.0	0.0	△
			2	55,149	0	37,067	4.9	0.0		
			3	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—		
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	・実施率の低い世代等（子育て世代、女性、働き盛り世代）の実施率の向上	・スポーツ実施率の低い世代にターゲットを絞り、ニーズに合った各種事業の充実を図る
令和2年度	・実施率の低い世代等（子育て世代、女性、働き盛り世代）の実施率の向上 ・今後も新型コロナウイルスの影響を受けることが予想されるため、社会情勢に応じてイベント等開催可否を判断する必要がある	・スポーツ実施率の低い世代にターゲットを絞り、ニーズに合った各種事業の充実を図る ・参加者の感染防止対策を講じた上で、世上を考慮しながらイベント等を開催する
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	3 芸術文化・スポーツ活動を推進するための環境整備
----	---------------------------

施策の目的	芸術文化・スポーツ活動を身近に体験できる、または感じられるということは、市民が豊かな文化的生活を営む上で重要な要因のひとつです。市民がより豊かな文化的生活を営み、静岡に暮らすことを誇りに思えるよう、世界中の多彩な芸術文化に触れ、文化交流が推進されるような環境整備や、市民がスポーツに気軽に参加する機会を増やすための環境整備を目指します。
-------	--

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ振興課
	氏名	課長 杉山 範雄

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	理由
	B：施策の目的があまり達成されていない。	—	—	—	令和2年2月まではほぼ例年通りの利用人数・利用率であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年3月の利用者が激減し、目的達成することができなかった。文化施設の一部では、音楽・科学・美術を融合した連携事業も展開しており、今後も引き続き、多様な文化に触れる機会を提供することで、目標達成を目指したい。またスポーツ施設では修繕等の休館影響もあったため、休館等がないR2年度以降は更に目標値に近づけるよう検討する。
		—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設及びスポーツ施設について一時休館をしていた。また、再開した後も施設の利用人数制限を行ったことから、設定している指標（利用人数及び利用率）について正しく実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
		—	—	—	—
		—	—	—	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	1,628千人	1,414千人	86.9%	b	
文化施設利用人数	1,548千人	2	1,628千人	534千人	32.8%	d	前期の目標値 利用人数1,628千人/年を令和元年度から令和4年度まで引き続き採用：1,628千人×4年=6,512千人	
		3	1,628千人	—	—	—		
		4	1,628千人	—	—	—		
		1	77.00%	72.88%	94.7%	b		
文化施設利用率	76.20%	2	77.00%	47.20%	61.3%	d	前期の目標値 利用率77.00%/年を令和元年度から令和4年度まで引き続き採用	
		3	77.00%	—	—	—		
		4	77.00%	—	—	—		
		1	5,000千人	4,383千人	87.7%	b		
スポーツ施設利用人数	4,802千人 (平成29年度)	2	5,000千人	2,836千人	56.7%	d	推進計画の柱6「スポーツ活動を推進するための支援」の指標と合わせる。 本施策の実現した姿は、施設整備や広報活動を実施し、市民がスポーツに親しみやすい環境が整っている状態であるため、その成果指標としては、全スポーツ施設のスポーツ施設利用人数とする。 静岡市人口ビジョンの推移表では2010年から2025年までに8.9%減少が見込まれているため利用人数の自然減少は免れない。前期の結果を踏まえて目標値を自然減少を抑えることとし、目標値を変更した（令和元年度）。	
		3	5,000千人	—	—	—		
		4	5,000千人	—	—	—		

指標以外の成果

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
清水駅東地区文化施設整備（PFI）	清水駅東地区に整備した文化ホールの建設費割賦払い	2	1	56,226	0	56,225	2.0	0.0	0.0	○
			2	56,274	0	56,274	2.0	0.0		
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
文化・スポーツ施設の整備・運営（文化施設分）	市民の快適に文化・スポーツを楽しむことができる環境整備	1	1	1,466,934	0	1,392,524	10.0	4.0	0.0	△
			2	1,782,945	0	1,699,925	10.0	4.0		
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
文化・スポーツ施設の整備・運営（スポーツ施設分）	市民の快適に文化・スポーツを楽しむことができる環境整備	1	1	2,325,223	0	2,214,964	12.0	2.0	0.0	△
			2	2,301,819	0	2,196,878	12.0	2.0		
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
静岡市民文化会館再整備事業	・施設に求められる機能や整備手法などの調査・検討と再整備方針の決定 ・再整備方針に基づく基本構想・基本計画の策定 ・適切な整備手法の検討	3	1	20,000	0	18,700	3.0	0.0	0.0	△
			2	29,000	0	0	3.0	0.0		
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
学校等体育施設の活用	市立小、中学校等に設置した学校等体育施設利用運営協議会への運営の支援、施設利用許可	4	1	70,339	0	69,553	2.0	1.0	0.0	○
			2	72,654	0	69,557	2.0	1.0		
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	・各施設にて、利用人数及び利用率の目標値に届かず、新型コロナウイルスの影響により今後も目標値と乖離する可能性が考えられる。 ・静岡市民文化会館の再整備については、令和元年度に再整備の方針の検討を行ったが、新型コロナウイルスの影響で、再整備の完了までに当初想定よりも期間を要する可能性がある。	・施設の利用促進を図るため、新規事業や企画展などを行い、周知方法を検討していく。 ・静岡市民文化会館再整備について、進捗管理を行い、市民の文化活動に対し支障をきたさないよう、業務を進めていく。
令和2年度	・施設利用人数及び利用率については今後も新型コロナウイルスの影響を受けることが予想されるため、感染状況を注視しながら引き続き適正な施設運営を行う。 ・静岡市民文化会館の再整備について、新型コロナウイルスの影響により令和2年度は事業執行できず令和3年度へ事業費を繰り越したため、再整備の完了までに当初想定よりも期間を要する可能性が高い。	・市民が安心して利用できるよう施設内に感染防止対策を講じた上で、世上を考慮した利用促進方法を検討する。 ・静岡市民文化会館再整備について、新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、市民の文化活動へ支障を来さぬよう事業を進める。
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—